

高知憲法速報

No.233 2010. 9. 1

発行:高知憲法会議事務局 088-872-3406

編集人 事務局 徳弘嘉孝

衆議院比例定数削減を許さない

民主党代表選挙を前に情勢は流動的ですが、参議員選挙で六つの政党が国会議員定数の削減を公約に掲げていることから、年内に比例定数削減への合意を目指して動き出す危険があります。

昨年の衆議院選挙で民主党は小選挙区 47%の得票率で 74%の議席を獲得し、「政権交代」に成功しましたが、国民の声を正確に反映しない小選挙区制の問題が表面化しました。小選挙区制が民意をゆがめ多様な意見を切り捨てる制度であることは成立当初から明らかです。比例代表並立制は少しでもその矛盾を解消するために設けられたものであり、現在の 180 名をさらに 100 名にすることは民意切り捨てとさえいえます。

今回の参議員選挙でも、選挙区で民主党は 39.0%、2200 万余票、自民党は 33.4%、1949 万余票でありながら自民党が公明党との選挙協力などもあって 21 勝 8 敗という形で勝利し、民主党 44 議席、自民党 51 議席という結果になりました。比例代表では、民主党 31.6%、自民党 24.1%です。個人名での投票もその党に投票したものとみなす非拘束名簿式というおかしな制度で、開票事務の煩雑さは大変なものがあるうえに、人気タレントや有名人を担ぎ出して得票を得ようというやり方に問題があります。政党内では個人名の投票が多い方が上位になるため、大事な現職を落選させるという現象も出てきました。

イギリス政治に詳しい立命館大学の小堀眞裕教授によると、二大政党の国とされるイギリスでも二大政党状態になっているのはイングランドだけで、他のスコットランド、ウェールズ、北アイルランドでは二大政党の状態ではありません。多様な世論に対応できず第一党が過半数の議席をとることが年々難しくなり、小選挙区制そのものを見直して、より民意が議席に反映される制度をとるという議論が起きています。スコットランド、ウェールズ、北アイルランドなどの「地方議会」は小選挙区比例代表並立制ですが、日本のような完全な二票制ではなく、小選挙区で当選した人に投じ

た分の票を比例では控除して、比例の当選者を決めるという仕組みです。たとえば小選挙区で自民党が 10 人通ったとしたら、10 人の票はもう既に使われているから、それ以外の票で比例の当選者を選ぶというものです。小選挙区で死に票になった人の分だけで比例が選ばれるという仕組みです。これで比例では小さな政党が有利になり、小選挙区で議席を取れなかった政党が議席を多く獲得します。

なんとなく耳触りのよい「身を削るために議員定数を削減する」という議論に流されず、すでにその害悪が明らかになりつつある現行の選挙制度について検討し、多様な民意を反映させる選挙制度を作っていくなければなりません。政党助成金の問題も明らかにすべきです。当面、衆議院比例定数削減に反対するための議論を進めましょう。

街頭宣伝署名行動について

9月4日(土)こうち九条の会の街頭宣伝は他の行事との関連で午後5:00~6:00に変更します。

9月の憲法会議街頭宣伝は19日が日曜日のため9月18日(土)午後1:30~2:30 こうち九条の会の街頭宣伝署名に合流します。

8月19日憲法会議の宣伝署名では、C高校の高校生が署名をするだけでなく「クラスでも集める」と言って署名用紙を持って帰りました。夕方でしたが3人で50筆を集めました。

行事ご案内

9月4日(土)映画「生きてるうちが花なのよ死んだらそれまでよ党宣言」森崎監督も参加するシンポジウムあり 11:00~4回上映 あたご劇場 渚の映画会主催

9月4日(土)「9・11 検証 真実への青写真」映画上映と西牟田祐二教授の解説 10:30~自由民権記念館 貿易センタービルとペンタゴンの謎 考える会主催

9月4日(土)「現代に生きる啄木」三枝昂之さん講演 14:00~16:00 県立文学館ホール 啄木と一禎の会

9月5日(日)高知県母親大会 9:30~城西中学校

10月2日(土)「人間の目で経済を見よう」品川正治さん講演 13~15時 高知城ホール4階 革新懇主催
講演終了後革新懇総会 15~17:30 参加費 500円

10月3日(日)「アフガンの今を知る」フリージャーナリスト・西谷文和さん講演 13:30~16:00 人権啓発センター 草の家主催 平和な未来を考える高知の会、平和を考える市民セミナー共催 参加費 500円